

田^ノとに暖かさを増して桜の花が咲き誇る季節はもうすぐです。今日は「べしの田」卒業式。節田となる姫島小学校一五〇回田の卒業式です。

「来賓の皆様。昨年度までの三年間、口ナ禍により皆様に「列席いただく」とがかないませんでしたが、今年度は、ようやく本来の卒業式のかたちを取り戻しました。卒業生の門出を祝つていただける皆様の「列席に、篤く感謝とお礼を申しあげます。

卒業生のみなさん。今日のみなさんの卒業で姫島小学校の卒業生は一九五九一名になりました。もう少しで一万人になりますかという姫島小学校の卒業生です。今年度は創立一五〇周年のやまとまな記念行事があり、あらためて姫島小学校の歴史を知ることができたので、いつも以上に姫島小学校の歴史と伝統を感じる卒業式となりました。みなさんは、創立一五〇周年の年に卒業を迎えた特別な卒業生です。

先ほどの卒業証書授与。おぬどとつとつ気持ちを込めて、みなさん一人一人の顔をみて卒業証書を手渡しました。やまとまな思いがこみあげてきて、胸が熱くなりました。

みなさんの小学校生活は入学式から始まりました。少しあり可憐なしぐれ、頼りなげでかわいがりたい子もいました。それがみなさんの幼時のお姿であったことと懐こます。ここから六年後の今田のみなさんの姿。たくさんのできなかつたことがわからぬようになります。たくさんのわからなかつたことがわかるようになります。故にわれらはばかりだつたのに、この間いか人を支えられたのがわからぬようになります。大きな成長です。成長あると云ふことは、とても素敵なことですと思います。

その六年間の成長に心の中で大きな拍手を送るといつても、あつたくて卒業生のみなさんに伝えたいと思こます。卒業おぬでとう。みなさんのこれからが恵しいです。たくさんの希望がみなさんを待ち受け、たくさんの幸福をみなさんが手にしていきます。

そして、卒業にあたりみなさんに、最後に伝えたいことは何だらうとあらためて尋ねてみました。これまでも何度も機会で伝えてきた、みなさんへの願いを重ねて伝えました。新しくはありますましたが、本心の願いなので、最後にもう一度きいてください。

一つめの願い。それは、みなさんに「頑張る」でいてほしいことから逃げない心も必要です。頑張るためには田標が必要です。辛いことから逃げない心も必要です。何をどうのうに頑張れば田標に近づくか考える力も必要です。こつも頑張り続けることは実は簡単なことではあります。時には心や体が疲れてしまつて頑張れない時もあると思います。だから、成長するためには大切なことに間違にはあります。時々、休憩をしながらも、みなさんにねぎらう「頑張る」でいてほしいと強く願っています。

二つめの願い。それはみなさんに「優しい子」でいてほしいことから願いです。成長するためには、こつも安心してすくせらる場が必要です。安心してすくせらる場には、温かな優しい気持ちが満ちてこらると思います。みなさんが友達や家族など周りの人人に優しい気持ちで接するとい、友達や家族など周りの人もみんなに優しく気持ちで接してくれると思こます。優しさとは理解して大切にすることです。温かな優しい気持ちのやうと。成長の土台となる安らぎの場を、こつも意識してつくりほしこと願います。

そして、みなさんに成長の「ホール」として「強さ」を田舎してほしこじだ。「強さ」につきては、創立一五〇周年記念式典の式典で話したことや、せつ一回話せかげだわ。

過去と現在では、厳しき中の中身を違つと思こますが、過去も現在も未来も、厳しき中の中であることに違つはないと思こます。そのような厳しき中の中をたゞましまして生き抜いていかる自信に思ふ。「強さ」（せつ）と聞くと物語・物語と聞いてもよいと思こま（）を確かに身につけておれやかだわ。されば、自分の予じもたぢが「強さ」であると物語ておれやかだわ。されば、自信に思える学力かもしれない。自信に思ふ体力や運動能力かもしれない。自信に思ふ優しさや思つやうの心かもしれない。豊かな感性かもしれない。自信に思ふ「強さ」を、一つでも多く確かに身につかせよ。せつ願つてやみません。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は、お子様の「卒業おねで」といじわらこま（）。お子様の大いに成長された姿をじ覽になり、大きな喜びと感動で胸をこっぴにされていふのではないでしょうか。心よりお祝い申しあげます。あわせて、これまで六年間の学校に対する温かい理解とい協力に、篤くお礼を申しあげます。

中学生となれる方様に只懸念を感じる時もあるかもしされませんが、ぜひ、変わらぬ愛情とつかず離れずほどよい距離感で、わいなるお方様の成長を見守ってください。

それでは、みなさまの幸福を祈念し、卒業式のお辞とさせていただきます。

令和六年三月十八日

大阪市立姫島小学校 校長 吉田健太